

山武市市民提案型交流のまちづくり推進事業審査会

平成28年度 事業成果（事業評価）報告書

1. 開催日時 平成29年3月22日（水） 13：45～16：15
2. 開催会場 山武市役所 第5会議室
3. 審査委員 出席委員9名
4. 審査方法 一般公開による事業実施団体からの事業成果報告発表会
5. 発表団体 スタート部門4団体、ステップアップ部門1団体：合計5団体
6. 審査講評 各事業実施団体からの事業成果報告の評価は、5団体全てが提案された事業目的に沿った適正な活動であったと認めるものとします。
各団体評価は下記のとおりです。

記

<スタート部門>

① TOSS 九十九里

今年度はまず『山武市子ども観光大使』となる子ども達に山武市の魅力について理解してもらうため、実際に見て・触れて・知ってもらうなどの体験が事業の中心となられているようでした。来年度も当事業に採択されていますので、今後は『山武市の良さを発信する』ということにも重点を置いて活動に取り組んでいただきたいと思います。

② SANZEN－SANGO～セルフケアとおいしいごはん～

当事業を通じて、来年度は山武市健康支援課からの事業委託という形となり、市民活動団体と行政の新しい結びつきや協働が生まれ非常に良い成果であったと評価できます。今後も、利用者の方々と行政との間の橋渡し役の担い手として更なる活躍を期待しています。

③ Sun.M ソーシャルビューティサービス

活動内容の規模が年々拡大されており、市民にとって有益な事業を継続して実施できているといえます。今後は連携・協働のパートナーをより明確にし、ステップアップ部門への移行も視野に入れた事業展開をしていただきたいと思います。

④ ウィザードクラブ

多岐に渡って活動をされていますので、それぞれのサロンがどのような事業効果

をもたらしているかを一度振り返って検証し、これからの活動につなげていただきたいと思います。また、現在の事業目的は『健康を維持する』こととしていますが、今後は参加対象の門戸を広げ、より多くの方が参加できるような事業内容の検討をお願いします。

<ステップアップ部門>

① LLP グループ「木と土の家」

『山武杉の活用』といった目的で継続して活動に取り組まれてきました。当事業補助金の利用は一時休止とされるようですが、これからも山武杉の有効的な利活用に向け、様々な事業展開について検討していただきたいと思います。

<全 体>

- ① 『事業の実施内容』だけでなく、実施したことによる『効果』や『成果』をより具体的かつ明確に報告していただくようお願いします。
- ② 市内外の多くの市民活動団体が年に一度、一堂に介する場として『さんむ市民活動フェスタ』が今年度で第 10 回目の開催を迎えました。当事業を活用されている団体はこのようなイベントに積極的に参加し、自分たちの活動を広報 PR して様々な団体や市民の方々と交流を深めていただきたいと思います。

以上